

令和7年度保険者機能強化推進交付金(市町村分)評価指標に係る該当状況調査票

目標1 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする(配点100点)

64点

(i)体制・取組指標群(配点64点)

指 標		時点	回答欄	昨年度結果	得点	記載欄
1	地域の介護保険事業の特徴を把握しているか。 ※ウに該当する場合はイに、エに該当する場合は、ア又はイのいずれかに該当していることが望ましい	ア 「地域包括ケア「見える化」システム」を活用し、サービス資源や給付費等の現状把握・分析等を行っている	○	○	4点	○ア・イ・エ 「介護保険に関する統計書(数字でみる介護保険)」を作成。介護保険事業の実績のほか、地域包括ケア「見える化」システムを活用して、保険者全体の特徴や分析、近隣市町村と比較を行っている。 内容は、議会代表、医療、介護関係事業者、介護保険の被保険者、利用者又は家族、医療、保健、福祉関係者・学識経験者から組織する介護保険運営協議会で報告するほか、ホームページに掲載し公表する。 ○ウ 介護保険制度やサービス種類・内容、利用手続きなどを周知するために「介護保険総合パンフレット(ともにくむ介護保険)」や「地域資源ガイド&認知症ケアパス」を作成し、窓口に配布しているほか、ホームページにも掲載している。
		イ 日常生活圏域別の特徴を把握・整理している	○	○	4点	
		ウ 地域の介護保険事業の特徴を踏まえ、相談窓口やサービスの種類・内容、利用手続などについて、住民に周知を行っている	○	○	4点	
		エ 地域の介護保険事業の特徴を公表している	○	○	4点	
2	介護保険事業計画の進捗状況(介護サービス見込量の計画値と実績値の乖離状況)を分析しているか。 ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい	ア 毎年度、計画値と実績値の乖離状況について、モニタリングを行っている	○	○	4点	○ア モニタリング実施日：令和6年7月1日(計画値、実績値の乖離状況は、介護保険に関する統計書(数字でみる介護保険)に記載し、介護保険運営協議会で報告) ○イ 介護保険運営協議会、介護保険事業者研修会等で報告及び議論 ○ウ 計画値、実績値の乖離状況は、介護保険に関する統計書(数字でみる介護保険)に記載し、介護保険運営協議会で報告し、サービス提供体制を議論する。 また、毎月、介護施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム)から入所状況や待機者情報を収集し、その結果や検証を踏まえ、基盤整備の検討・見直しを行っている。 ○エ 数字で見る介護保険の公表 公表時期：8月30日(予定) 公表場所：ホームページ
		イ モニタリングの結果を外部の関係者と共有し、乖離の要因やその対応策について、外部の関係者を含む議論の場で検証を行っている	○	○	4点	
		ウ モニタリングの結果やイの検証を踏まえ、サービス提供体制について必要な見直しを行っている	○	○	4点	
		エ モニタリングの結果を公表している	○	○	4点	

指 標			時点	回答欄	昨年度結果	得点	記載欄	
3	<p>自立支援、重度化防止等に関する施策について、実施状況を把握し、必要な改善を行っているか。</p> <p>※アーイーウーエの順で該当していることが望ましい</p>	<p>ア 毎年度、次の施策分野ごとに事業の実施状況を定量的に把握し、データとして整理・分析している</p>	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	① 介護予防・生活支援サービス	○	○	1点	<p>○ア</p> <p>①各サービスの実施状況(利用件数、費用額、参加者数等)を年度ごとにデータ整理している。</p> <p>②各事業の実施状況(参加者数、利用団体数等)を年度ごとにデータ整理している。</p> <p>③事業の実施状況(初期集中支援チーム検討委員会の回数、チーム会議の回数、オレンジカフェの箇所数、認知症セミナーの参加者数、認知症サポーター養成者数等)を年度ごとにデータ整理している。</p> <p>④事業の実施状況(連携に関する会議の回数等)を年度ごとにデータ整理している。</p> <p>○イ 第9期南部町介護保険事業計画により目標・指標を定めている。</p> <p>①各サービスの利用件数・利用者数(延)</p> <p>②各事業(教室)の参加者数、参加団体数、ポイント事業登録者数</p> <p>③認知症サポーター養成者数、もの忘れ・認知症相談の利用者数、認知症カフェ開設箇所数、認知症本人ミーティングの参加者数、認知症に関する相談窓口を知っている割合</p> <p>④多職種の会議や研修会の開催回数、相談支援の件数、人生最後をどこで迎えたいかが「わからない」割合の減少、地域の活動参加や地域の相談窓口を医療機関で勧められた割合の増加</p> <p>○ウ 令和6年6月14日までに実施計画評価シート(第2次南部町総合振興計画)により事業の進捗状況、今後の方向性を評価している。</p> <p>①通所型サービスCにおいて、従来の地区毎集約的に行う方法から、支援が必要な方が従来の固定のクルールを待たずに利用できるような見直しを行った。事業の参加者数の把握の他、参加者の事業実施前後で、運動機能測定結果及び基本チェックリスト項目を比較し、改善した項目等、データ整理を行っている。</p> <p>②各事業の実施状況(参加者数、利用団体数等)を年度ごとにデータ整理している。</p> <p>③南部町初期集中支援チーム検討委員会において実績等を報告し、委員から見直し、改善等の提案ができる場として活用している。(令和6年4月25日開催:認知症初期集中支援チームの活動の周知、認知症初期からの早期介入や地域での見守り体制構築、免許返納者への支援に関して意見が出された)</p> <p>④在宅医療・在宅介護連携会議において、医療・介護関係者から見直し、改善等の提案ができる場を開催している。今年度は、医療と介護の情報共有ツールである「八戸地域保健医療圏における病院とケアマネジャーの入退院調整ルール」の活用状況について調査後、内容の改訂、介護・医療関係機関への周知を行う予定である。</p> <p>○エ</p> <p>○介護保険事業計画に記載した「自立支援・介護予防・重度化防止に係る取組と目標」の公表</p> <p>公表時期:令和6年6月1日 公表場所:ホームページ</p> <p>① 実施内容、達成状況(自己評価)、課題と対応策</p> <p>② 実施内容、達成状況(自己評価)、課題と対応策</p> <p>○数字で見る介護保険の公表</p> <p>公表時期:8月30日(予定) 公表場所:ホームページ</p> <p>①イの指標・目標に対する実績</p> <p>②イの指標・目標に対する実績</p> <p>③イの指標・目標に対する実績</p> <p>④イの指標・目標に対する実績</p>
				② 一般介護予防事業	○	○	1点	
				③ 認知症総合支援	○	○	1点	
				④ 在宅医療・介護連携	○	○	1点	
	<p>イ 次の施策分野ごとに事業の効果を検証するための評価指標を定めている</p>	① 介護予防・生活支援サービス	○	○	1点			
		② 一般介護予防事業	○	○	1点			
		③ 認知症総合支援	○	○	1点			
		④ 在宅医療・介護連携	○	○	1点			
	<p>ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、次の施策分野ごとに課題の分析、改善・見直し等を行っている</p>	① 介護予防・生活支援サービス	○	○	1点			
		② 一般介護予防事業	○	○	1点			
		③ 認知症総合支援	○	○	1点			
		④ 在宅医療・介護連携	○	○	1点			
	<p>エ 次の施策分野ごとにイの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している</p>	① 介護予防・生活支援サービス	○	○	1点			
		② 一般介護予防事業	○	○	1点			
		③ 認知症総合支援	○	○	1点			
		④ 在宅医療・介護連携	○	○	1点			
4	<p>保険者機能強化推進交付金等に係る評価結果を関係者間で共有し、自立支援、重度化防止等に関する施策の遂行に活用しているか。</p> <p>※イ及びウに該当する場合はアに該当していることが望ましい</p>	ア 年に1回以上、評価結果を庁内の関係者間で説明・共有する場がある	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	○	○	4点		
		イ アの場には、庁内のみならず、外部の関係者が参画している		○	○	4点		
		ウ アの場における意見を、施策の改善・見直し等に活用している		○	○	4点		
		エ 市町村において全ての評価結果を公表している		○	○	4点		

指 標	時点	回答欄	昨年度結果	得点	記載欄
-----	----	-----	-------	----	-----

目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する(配点100点)

60点

(ⅰ)体制・取組指標群(配点68点)

指 標	時点	回答欄	昨年度結果	得点	記載欄	
介護給付費の適正化に向けた方策を策定しているか。 ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	ア 地域のサービス資源や給付費等の動向を把握し、他の地域とも比較・分析の上、介護給付費の適正化方策を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8点	○ア 第9期計画に方策(概要)を記載 ○イ 各取組に指標(目標)を記載 ○ウ 毎年、各取組の実績等を「介護保険に関する統計書(数字でみる介護保険)」にまとめ、必要に応じ改善・見直しを行っている。 ○エ 第9期南部町介護保険事業計画(介護給付費適正化計画) 公表内容:方策(概要)、指標(目標) 公表時期:令和6年8月19日 公表場所:ホームページ
		イ 介護給付費の適正化方策に基づく取組の効果を検証するための評価指標を定めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8点	
		ウ イの指標に対する実績等を踏まえ、毎年度、取組の課題の分析、改善・見直し等を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8点	
		エ イの指標の達成状況を含む取組の成果を公表している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8点	

介護給付費適正化事業を効果的に実施しているか。	2024年度実施(予定を含む)の状況を評価	ア 3事業の全てを実施している	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	6点	①3事業のうち実施している事業を記載。<選択式>	
			<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		要介護認定の適正化	
			<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		ケアプラン等の点検	
		イ 縦覧点検10帳票のうち、効果が高いと期待される4帳票をいくつ点検しているか	① 2帳票	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2点	②「縦覧点検10帳票のうち、効果が高いと期待される4帳票」のうち実施している帳票を記載。<選択式>
			② 3帳票	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		① 居宅介護支援請求におけるサービス実施状況一覧表
			③ 4帳票	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		② 重複請求縦覧チェック一覧表
		ウ ケアプラン点検の実施に当たって、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の入居者に係るものも含めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8点	○ウ 厚生労働省令和3年9月22日付け事務連絡「居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証等について」に基づき、集団指導にてケアプランの種類ごとに提出を求めて点検を実施している。	
エ 福祉用具の貸与後に、リハビリテーション専門職等が用具の適切な利用がなされているかどうかを点検する仕組みがある	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	0点	○オ 福祉用具購入費・住宅改修費の申請内容について、作業療法士の資格を持った職員を含む事務担当者が妥当性を検討している。また、住宅改修は全てにおいて自宅へ訪問し確認を行っている。			
オ 福祉用具購入費・住宅改修費の申請内容について、リハビリテーション専門職等がその妥当性を検討する仕組みがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8点				

(ⅱ)活動指標群(配点32点)

1	ケアプラン点検の実施割合	ア 上位7割	2023年度実績を評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケアプラン点検数を記載。※単位の記載は不要
		イ 上位5割					
		ウ 上位3割					
		エ 上位1割					
2	医療情報との突合の実施割合	ア 上位7割	2023年度実績を評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	①実際の点検件数
		イ 上位5割					②出力件数
		ウ 上位3割					100.0%
		エ 上位1割					自動計算(単位:%) ※①・②ともに単位の記載は不要

指 標	時点	回答欄	昨年度結果	得点	記載欄
-----	----	-----	-------	----	-----

目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する(配点100点) 26 点

(i) 体制・取組指標群 (配点64点)

指 標	時点	回答欄	昨年度結果	得点	記載欄	
<p>地域における介護人材の確保・定着のため、都道府県等と連携しつつ、必要な取組を実施しているか。</p> <p>※エに該当する場合はイ又はウのいずれかに該当していることが望ましい</p>	2024年度実施(予定を含む)の状況の評価	ア 地域における介護人材の現状や課題を把握し、これを都道府県や関係団体と共有している	○	○	6 点	<p>○ア 令和4年度に町内の介護事業所すべてを対象として実施した「介護人材の確保・定着に向けたアンケート」の結果を分析し、介護保険運営協議会(議会代表、医療、介護関係事業者、介護保険の被保険者、利用者又は家族、医療、保健、福祉関係者・学識経験者により構成)で報告し、ホームページに掲載している。また介護事業所とも情報共有している。</p> <p>分析結果や介護保険運営協議会及び市内での意見・協議を踏まえ、助成事業の活用を含めた介護人材確保に係る事業の実施について検討していく。</p>
		イ 都道府県や関係団体の取組と協働した取組を行っている	×	×	0 点	
		ウ 市町村としての独自事業を実施している	×	×	0 点	
		エ イ又はウの取組の成果を公表している	×	×	0 点	
		オ 地域における介護人材の将来的な必要数の推計を行い、これを公表している	×	×	0 点	

<p>地域におけるサービス提供体制の確保や、自立支援・重度化防止、介護人材確保に関する施策等の推進に当たって、市内・市外における関係者との連携体制が確保されているか。</p> <p>※ウからオまでのいずれかに該当する場合はア及びイに該当していることが望ましい</p>	2024年度実施(予定を含む)の状況の評価	ア 介護・福祉関係部局や医療、住まい、就労関係部局など、高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた市内の連携を確保するための場又は規程がある	○	×	6 点	<p>○ア 規定はないが、医療・介護・福祉の担当課が同じ健康センターの中に配置されており、ケア会議等で連携する場はある。</p> <p>○イ 地域ケア会議全体会で、医療機関や薬局、社会福祉協議会、生活支援コーディネーター、在宅介護支援センター、福祉施設関係者等と情報共有をしながら連携している。</p> <p>○ウ</p> <p>①通所型サービスCの対象となりうる方を基本チェックリストから抽出し、事業紹介の個別通知を行った他、地域ケア会議全体会でのケアマネや在宅介護支援センターへの事業紹介を行い、利用の必要な方への周知及び勧奨の協力を得ている。</p> <p>②民生児童委員協議会や、在宅介護支援センターの個別訪問時、通いの場(地区のサロン)参加者間等、事業の周知及び介護予防の必要性を住民同士で声掛けする等の協力を得られている。</p> <p>③ 地域ケア会議の個別会議で認知症の困難事例など多職種で検討したり、認知症ケアバスを町の福祉サービスを掲載した地域資源ガイドに認知症ケアバスを掲載し、認知症施策に関する情報が住民や関係者間で共有できるよう活用している。</p> <p>④ 地域ケア会議全体会で在宅医療・介護連携をテーマに事例報告会や研修を行っている。</p>	
		イ 都道府県や事業者、関係団体、専門職等外部の関係者との連携を確保するための場がある	○	○	6 点		
		ウ ア及びイの連携体制を、次の施策分野ごとの取組に活用している	① 介護予防・生活支援サービス	○	×		2 点
			② 一般介護予防事業	○	×		2 点
			③ 認知症総合支援	○	○		2 点
			④ 在宅医療・介護連携	○	○		2 点
			⑤ 介護人材確保等	×	×		0 点
		エ ア及びイによる連携体制を活用し、高齢者の住まいの確保と生活の一体的支援に関する取組を実施している	×	×	0 点		
オ ア及びイによる連携体制を、重層的支援体制整備事業の実施や地域の誰もが参画できる場づくりなど、介護保険事業に留まらない地域づくりにも活用している	×	×	0 点				

(ii) 活動指標群(配点36点)

1	高齢者人口当たりの地域住民に対する介護の仕事の魅力を伝達するための研修の修了者数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	/	/	研修の修了者数を記載。※単位の記載は不要
		イ 上位5割					
		ウ 上位3割					
		エ 上位1割					
2	高齢者人口当たりの介護人材(介護支援専門員を除く。)の定着、資質向上を目的とした研修の修了者数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	/	/	研修の修了者数を記載。※単位の記載は不要
		イ 上位5割					
		ウ 上位3割					
		エ 上位1割					
3	介護支援専門員を対象としたケアマネジメントの質の向上に関する研修(介護支援専門員法定研修を除く。)の総実施日数	ア 上位7割	2023年度実績を評価	/	/	/	研修の総実施日数を記載。※単位の記載は不要
		イ 上位5割					
		ウ 上位3割					
		エ 上位1割					

指 標	時点	回答欄	昨年度結 果	得点	記載欄
-----	----	-----	-----------	----	-----

目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む(配点100点)

成果指標群

指 標	時点	回答欄	昨年度結 果	得点	記載欄
1 軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化Ⅰ) 短期的な要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 変化率の状況	① 全保険者の上位7割	(ア) 2023年1月→2024年1月の変化率 (イ) 2023年1月→2024年1月と、2022年1月→2023年1月の変化率の差		
		② 全保険者の上位5割			
		③ 全保険者の上位3割			
		④ 全保険者の上位1割			
	イ 変化率の差	① 全保険者の上位7割			
		② 全保険者の上位5割			
		③ 全保険者の上位3割			
		④ 全保険者の上位1割			
2 軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化Ⅱ) 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 全保険者の上位7割	2020年1月→2024年1月の変化率			
	イ 全保険者の上位5割				
	ウ 全保険者の上位3割				
	エ 全保険者の上位1割				
3 中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化Ⅰ) 短期的な要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 変化率の状況	① 全保険者の上位7割	(ア) 2023年1月→2024年1月の変化率 (イ) 2023年1月→2024年1月と、2022年1月→2023年1月の変化率の差		
		② 全保険者の上位5割			
		③ 全保険者の上位3割			
		④ 全保険者の上位1割			
	イ 変化率の差	① 全保険者の上位7割			
		② 全保険者の上位5割			
		③ 全保険者の上位3割			
		④ 全保険者の上位1割			
4 中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化Ⅱ) 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 全保険者の上位7割	2020年1月→2024年1月の変化率			
	イ 全保険者の上位5割				
	ウ 全保険者の上位3割				
	エ 全保険者の上位1割				
5 健康寿命延伸の実現状況 要介護2以上の認定率、認定率の変化率の状況はどのようになっているか。	ア 認定率	① 全保険者の上位7割	(ア) 2024年1月の認定率 (イ) 2023年1月→2024年1月の変化率		
		② 全保険者の上位5割			
		③ 全保険者の上位3割			
		④ 全保険者の上位1割			
	イ 認定率の変化率	① 全保険者の上位7割			
		② 全保険者の上位5割			
		③ 全保険者の上位3割			
		④ 全保険者の上位1割			